

第7陣・第8陣 交流会

2月5日、第7陣と第8陣の候補者交流会が行われました。この交流会は、候補者が感じている日本語学習への疑問や悩みを、同じ経験をした先輩に相談して解決するための機会として、毎年実施されています。今回は12月に巣立っていった第7陣の先輩候補者約20名が、遠くは中部のゲアンからも第8陣の候補者のために集まってくれました。



左からズンさん、ズオンさん、フエンさん

当日はゲームや歌を楽しんだ後、少人数のグループに分かれての相談会となりました。相談会の会場で、熱心に先輩と話していた候補者3名（ズンさん、ズオンさん、フエンさん）に、交流会終了後、インタビューをしました。



先輩（手前右）の話を身を乗り出して聞いています。

★ 交流会はどうでしたか。

フエンさん

とても楽しかったです。

ズンさん

これからの勉強に役立ちそうな話をたくさん聞くことができました。

★ どんなことを話したんですか。

ズオンさん

先輩が実際にやってみて効果があった勉強方法や、時間の管理について教えてもらいました。特に、漢字の効果的な勉強方法を教わったのですが、その通りにしてみたら、これまでより短い時間で漢字が覚えられました。

ズンさん

私も勉強について質問しました。教えてもらったことをいくつか実践していますが、本当に役に立っています。

★ N3に合格して日本へ行ったら、どんな介護士になりたいですか。

フエンさん

利用者さんはもちろん、日本人の同僚ともしっかりコミュニケーションが取れる介護士になりたいです。そのために、日本語の勉強を頑張ります。

ズオンさん

日本の介護の技術や知識をたくさん身につけたいです。私は長く日本に住みたいと思っていますので、仕事以外のことでも新しいことに挑戦したいです。

ズンさん

まずは研修所で一生懸命勉強しなければなりません。日本へ行ってからも勉強を続けて、日本人と同じレベルの仕事ができるようになりたいです。

自分たちと同じ研修を受けてN3に合格し、数か月後に渡日を控えた先輩と話すことで、将来の夢もより具体的に
なったようです。来年の2月には、この3人を含め多くの8陣候補者が先輩として研修所に戻ってきてくれることを期待しています。



勉強方法、時間の使い方など、たくさんメモをとりました。